

ただいまご紹介に預かりました埼玉県スポーツ振興課の井上と申します。

スポーツ振興課からは、アスリートの就職支援に向けた県の取り組みとして、さいたまアスリート就職サポートセンター、通称埼玉アスサポについて紹介とお願いをさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず埼玉アスサポを紹介する前に、埼玉ゆかりのアスリートを紹介させていただきたいと思えます。

今スライドに映っていますが、国際大会で活躍する埼玉県にゆかりのあるアスリートの方になります。

左上から、今年の世界陸上競技選手権ブダペスト大会 400 メートルで、32 年ぶりに日本記録を更新した、陸上競技の佐藤選手、右上がバトミントンの奥原選手。

左下、水泳の瀬戸選手、右下が高校生ながらクライミングの世界カップに出場し、昨年の国体では、埼玉県の旗手を務めた小池選手など、本県ゆかりの数多くの選手が活躍しております。

次のスライドが、パラアスリートになりますが、パラアスリートでも多くの方が活躍しておりまして、県では、国際大会で活躍が期待できるパラアスリート 20 名を、埼玉パラドリームアスリートに認定しています。

その一部の選手をご紹介いたしますと、卓球の樫山選手、パラ卓球国際大会ジャパンパラオープンで、女子シングルス、ダブルス、ミックスダブルスで優勝されています。

水泳の西田選手はシンガポールで開催されたパラスイミングワールドシリーズにおいて、50 メートルバタフライ日本新記録を記録し 2 位、20 ポイントメドレーで優勝を活躍しています。デフテニスの鈴木選手は世界デフテニス選手権女子ダブルスで優勝されていたり、他にも埼玉県には世界で活躍するパラアスリートが数多くありますので、ぜひ注目していただければと思っております。

次に本県のスポーツ振興の取り組みの一つとして、競技力向上に向けた一貫した育成支援体制の取り組みを紹介いたします。

まず、運動能力に秀でた小学生に運動能力測定などを実施し、プラチナキッズとして認定しまして、様々な能力開発プログラムや競技体験をしていただくなどして能力育成を小学生の段階で行っています。

次に中学生では、プラチナジュニアとして、測定に加えまして、競技の専門的なトレーニングを実施していきます。

次に高校生以上では、プラチナアスリート、パラドリームアスリートとして認定をいたしまして、スポーツ科学、トレーニング指導や栄養学などの提供などをして、活動を支えています。

また、パラドリームアスリート事業では、今年度からパラアスリート発掘のための体験会測定会を実施しまして、パラアスリートに関しましてもスポーツ能力に優れた方を組織的に発掘して、世界に羽ばたく未来のパラアスリートを育成する取り組みを始めました。

このように一貫した育成支援体制を構築することで、埼玉県が世界のトップアスリート輩出を目指しているのですが、その中で、県内で競技を希望するアスリートに対して、競技支援をしてくださる企業様とマッチング、就職あっせんをしていきますのが、本日ご紹介するさいたまアスリート就職サポートセンターということになります。

それでは埼玉アスリート就職サポートセンター、今回の本題なんですけども、通称アスサポについて説明させていただきます。

この埼玉アスサポは、県スポーツ振興課内に、平成 30 年度に開設された就職あっせんの事業所になります。

県スポーツ振興課長を所長としまして、競技スポーツ担当が所員として活動しています。

この埼玉アスサポは就職後も競技を継続していきたいと希望するアスリートと、アスリートを採用したい県内企業様をマッチングすることで、本県スポーツの競技力向上を目的としています。なお、アスリート、企業様共に登録マッチング手数料は一切かからない、無料の職業紹介所という形で運営しております。

スポーツ振興課では、登録アスリートと登録企業がより多くの選択肢を持っていただけるように、新たな新規登録の募集を行っておりまして、日々大学を訪問したりですとか、各種ビジネスセミナーなどに参加してこちらの広報を行っております。

また、毎年 6 月には、こちらに興味、ご理解があるアスリート、企業様が一堂に会して参加するような就職説明会を開催しております。

また、来年 1 月には、さいたまスーパーアリーナで実施する彩の国ビジネスアリーナにも出展しまして、アスサポを含めた事業説明を行う予定でございます。

さてこちらの円グラフなんですけども、少し古いデータになりますが、国体に出場した大学生アスリートに対して調査を実施しまして、卒業後の競技継続希望などを調査したのになります。ちょうど埼玉アスサポ事業を始めた平成 30 年度のものになっておりますので、少しデータ古いですがご承知おきください。

データを見ますと、過去国体に出場した大学 4 年生のうち、卒業と同時に競技をやめてしまう生徒が約 4 割弱いるということがわかりました。

また、競技継続をしている選手のうち約 6 割が県外に就職しておりまして、本県では優秀なアスリートが県内で競技継続を続けるというのは難しいのではないかと考えるに至りまして、平成 30 年の埼玉アスサポ事業の開始となりました。

埼玉アスサポはこの課題を解決して競技力向上をしていこうという取り組みになります。

続いて、こちらの取り組みのターゲット層の表した表になります。

この表にあります通り、国の方でも埼玉アスサポと同じような取り組みを行っておりまして、日本オリンピック委員会 JOC の方で、アスナビという形で実施がされております。

こちら国の取り組みの方では、ターゲット層が、オリンピックや世界選手権を目指すトップアスリートの就職支援に限られているところなんですけども、当課で実施している埼玉アスサポでは、このすそ野へ広げたところで、関東・全国大会レベル以上のアスリートからを対象とする取り組みということになっております。

また、埼玉アスサポでは、県外からの選手も広く受け入れておりまして、幅広くアスリートを募集することにも特徴がございます。

実際先日、大阪府出身の陸上競技の選手が新規に登録しまして、県内企業様とマッチングさせていただいた結果、実際内定が決まったという事例もございます。

このように、本県としましては、アスリートが競技継続できる支援体制を推進していきまして、スポーツ振興を図りたいと考えております。

こちらが実際の取り組み事例を表したスライドになります。

このスライドに記載のアスリートと企業の方々は、実際にアスサポに登録していただいて、マッチングが成功した事例になります。

こちらのアスリートの方も、現在競技継続しながら勤務を続けていらっしゃいます。

まずアスリートの方からの感想を紹介しますと、こちらのマッチングの結果、競技支援に理解をしていただく企業とのマッチングであったため、勤務時間を配慮してもらえるため、仕事と練習の両立ができている。また社内の活気づけや広報活動で企業に貢献できて嬉しいといった声がアスリートから上がっております。

また企業からもアスリートを採用することで、誰かの夢を共有することで、従業員のモチベーションアップに繋がった、または取引先とこちらの話題で話が弾んだなどの声をいただいております。

続いて、実際にどのように埼玉アスサポでマッチングを進めていくのかについて説明させていただきます。

こちらの図の真ん中の部分が埼玉アスサポの動きになります。

我々スポーツ振興課では、まずこのような働きながら競技継続を希望してるアスリート及び働くアスリートを応援したい企業の新規登録者の開拓を進めております。

そして実際に登録をしていただいたアスリート・企業で、登録していただきまして、登録された方同士でマッチングの希望があった場合、スポーツ振興課で間に入って両者をマッチングさせるという形になっております。

マッチングする際に大事なことなんですけども、アスリートの方は、競技継続にあたってどんなことを企業側に求めるか、条件を求めるか。企業の方では、どんな支援が生徒に対して可能だによってことをしっかりお互い伝え合うことによって、ミスマッチが起こりにくいような形で繋いでおります。

具体的な支援内容になるんですけども、こちらはよく耳にするような、実業団のような支援内容というものに限らずで、埼玉アスサポのアスリートは原則通常勤務を行うということが特徴になります。

その上で、試合日前の練習時間の確保のための時短勤務でありますとか、合宿や大会に参加する時の休暇取得や、遠征費等の一部負担などを求めるような形が特徴です。

企業様はそれに対して、全部やっていくってことじゃなくて、企業の方でどこまで支援できるかということ事前に協議していただいて、アスリートと企業ですり合わせをした状態で、合意に至れば、採用に向けた面接及び内定進んでいくといった形になっております。

これらは互いにアスリート採用の特徴ですけども、アスリートの希望と企業ができることの条件の部分を十分にマッチングできないと、実際内定が決まった後でも、そのミスマッチのせいで辞めてしまうということも考えられますので、埼玉アスサポでは、最初マッチングの立ち会いの時に同席させていただきまして、その辺りがしっかり伝わっているかななどの助言等をさせていただいております。

最初のマッチングに立ち会った後には、アスリートと企業の両者の方で採用試験等に進めていただいて、雇用成立を目指すといった形で進んでいきます。

これ先ほどのスライドの抜粋になりますが、アスリート側のメリットについてまとめたものになります。

アスリートが埼玉アスサポを活用するメリットとしましては、繰り返しになりますが、デュアルキャリアになりますね、競技と仕事の両立、競技による費用負担の軽減、就労後のミスマッチ防止といったところが、この仕組みを使っての就職におけるメリットとして挙げられております。

また先ほど紹介いたしましたが、社内の活気づけや、広報活動する企業に貢献できるといったことで、アスリート本人のやる気がアップするといったメリットも挙げられるかなと思います。

一方企業様の方で、埼玉アスサポを活用するメリットをまとめたものがこちらになります。

まずは広報の面が挙げられますが、その他にも諦めずに競技と向き合ってきたアスリートの持続力、努力できる粘り強さといったアスリートの人間力といったところは、職場で活躍する大きなメリットになるかなというところがございます。

また、普段一緒に仕事をしている、周りの同僚がアスリートとして活躍しているという話を聞くと、興味が湧いて応援したくなったり、より深くコミュニケーションをとるようになるといったことも実際の企業様の方からお話がありました。

また、先ほどご紹介しました通り、うちはこんなアスリートがいてねといった形で取引先との話題づくりになるといったことがメリットになるといった場合も多数ございました。

最後になりますが、平成 30 年度から埼玉アスサポの方を進めているところなんですけども、これまでの実績をスライドに出させていただきます。

埼玉アスサポでは、これまで 33 名のアスリートからご相談をいただいております。

埼玉アスサポでのマッチングや、ご自身の就活で内定が決まったアスリートを除くと、現在は 10 名のアスリートが登録している状況になります。また企業団体の登録数は 36 件になります。

採用に向けたマッチング、実際にアスリートと企業の面接調整をしたところとしましては、今まで 22 件が行われておりまして、そのうち 10 件で実際に内定が成立しているといった状況でございます。

以上が埼玉アスサポのご紹介になるんですが、最後にお願いということで、スポーツ振興課では、本県の競技力向上、スポーツ振興を図っていきたいと考えておりますが、そのための取り組みとして、埼玉アスサポが県内アスリートが競技継続しながら働くことができる環境整備を進めたいということにより一層推進していきたいと考えております。

そのため、今後さらなる皆様のご協力が必要になりますので、先ほどもご紹介しました通り、こちらの登録に関しましては、一切費用もかかりません。

実際のアスリートの就職活動の一環として、多様な働き方の部分でメリットがあるかなと思いますので、ぜひご賛同ご協力いただける企業団体の皆様にぜひ登録をお願いしたいなと思っております。

また、お知り合いのアスリートの中で、競技継続をしながら働きたい。もしくは、今よりも良い環境で働きながら競技をしていきたいと考えていらっしゃるアスリートがもしいらっしゃいましたら、ぜひこちらの埼玉アスサポをご紹介いただけますと大変ありがたいと思っております。

ぜひ皆様のご支援ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。
駆け足になりましたが、以上になります。